



おすすめ絵本



1歳半から

子どもが言葉を覚え、少しずつ会話できるようになってきたら、そのペースに合わせてゆっくりと絵本を読んであげてください。絵を見て楽しむことで、お話の内容を理解できるようになるでしょう。

ここで紹介している本はごく一部です。図書館を利用して、お気に入りの一冊を探してみてくださいね。

佐野市立図書館・田沼図書館・葛生図書館

絵本の紹介（1歳半から）

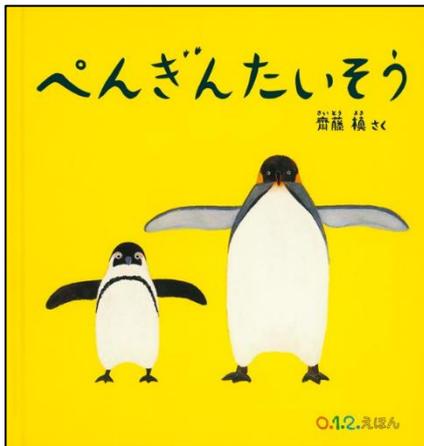


『しろくまちゃんのほっとけーき』

わかやま けん え 森 比左志・わだ よしおみ 著 こぐま社

しろくまちゃんがお母さんと、ほっとけーきを作ります。卵を割って牛乳を入れて…。お友達のこぐまちゃんと、おいしく食べてお片付け。

心まで満腹になれる絵本です。



『ペンギんたいそう』

齋藤 模 さく 福音館書店

水族館や動物園でおなじみのペンギン。ユニークで愛らしい体操を見ていると、思わずいっしょに身体を動かしたくなります。

絵本を読みながらぜひ、お子さんと体操してみてください。



『おはようのえほん』

いしかわ こうじ 作・絵 童心社

朝、たいようさんの呼びかけで動物たちが目を覚まします。らいおん、へび、もぐら、ふくろうなど、つぎつぎと元気にごあいさつ。

親子でいっしょに楽しめるしかけ絵本です。



『とりがいるよ』

風木 一人 さく たかしま てつを え KADOKAWA

あかいとりや、あおいとり。おおきいとりにちいさいとり。さあ、みつけられるかな？

シンプルなイラストとはっきりとしたカラーで、赤ちゃんの興味を引き出します。



『でんしゃがきました』

三浦 太郎 さく・え 童心社

でんしゃはガッタン、ふみきりカンカン。動物たちの待つ駅に、つぎつぎと食べ物でんしゃが到着します。

くりかえしの言葉が楽しい、想像力をかきたてる絵本です。



『きんぎょが にげた』

五味 太郎 作 福音館書店

きんぎょ鉢からきんぎょがにげた！にげたきんぎょをさがす絵本です。きっと夢中になって絵探しをするでしょう。

親子で一緒に楽しみながら、会話もはずみます。



『ねないこだれだ』

せな けいこ さく・え 福音館書店

夜の9時「こんなじかんに おきてるのは だれだ？」さて、おきているのはだれでしょう。

こどもはおばけが大好き。お膝にだっこしながら読んであげてください。



『ねずみくんのチョコキ』

なかえ よしを 作 上野 紀子 絵 ポプラ社

体の小さなねずみくん。おかあさんが編んでくれた赤いチョコキは、ねずみくんにピッタリです。「ちょっときせてよ」と、ほかの動物たちが次々に着ていきますが、チョコキはどんどん伸びてしまっ…。

最後はいったいどうなるでしょう！？